

「ゴルフ場経営企業ポリシー」事例

朝日コーポレーショングループにおける

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に向けての基本的な考え方

朝日コーポレーショングループ

代表 手塚 寛

- 【1】社員とお客様の命を守ることが何よりも最優先される。
- 【2】政府や自治体の方針を遵守し、感染拡大の防止に全面的に協力する。
危機感の薄い地域においては、啓蒙活動を通して危機感を高める。
- 【3】社員やお客様の「生活」を守る。
「社員の生活を守る」とは、雇用を維持することであり、「お客様の生活を守る」とは、長期化する自粛生活の中で適度な運動の場を提供することである。
- 【4】社員や社員の同居家族が感染した場合、就業はおろか、通常の生活を送ることさえ困難になることを忘れてはならない。
特に、同居家族に高齢者や基礎疾患(※)をもっている者がいる場合、感染したら重症化するリスクが格段に高くなることを強く意識すること。
(※) ある特定の病気や症状の原因となる病気。例えば、高血圧症・高脂血症・糖尿病等々
- 【5】社員やお客様の生活を守るために営業を続けることはとても大切である。
ただし、感染者を出してしまえば元も子もなくなる。
従って、感染リスクを限りなくゼロにするための予防活動、衛生管理、努力、工夫を怠ってはならない。
- 【6】営業を継続する上での「感染予防」はいかなる場合でも「人的サービス」を上回る。
そして、お客様にもこの方針の理解と協力をお願いする。
 - ・社員に、そしてお客様にも、高齢者が多いことは留意しなければならない。
 - ・感染リスクを低くするには、人と人との接触を減らすことが第一である。
 - ・「三密」を避ければ良いのではなく、「一密」さえも避ける。(三密：密室・密集・密接)
 - ・究極的には「お客様には人的サービスを受けてもらうのではなく、ただゴルフを楽しんでもらうだけで良い。社員はその環境をつくり、遠くから見守ることに専念する。」という発想を持つ。
 - ・お客様同士の接触も減らすことに理解・協力していただく。
(例えばプレー中のマスク着用、カート内、レストラン内での向き合っでの会話を避ける等々)
- 【7】また、営業を継続する上での「感染予防」は、一時的に「地球温暖化対策」も上回る。
 - 「人と人」や「人と物」の接触を極力減らすために、環境対策として使用を禁止している袋入り割箸やストロー、あるいは使い捨ての容器(コップ含む)等の使用を一時的に容認する
 - 清掃、消毒の頻度を多くすることで、ペーパータオルやゴミを小分けして入れるためのビニール袋(ポリ袋)の使用が多くなり、ゴミの量が一時的に増加することを容認する
- 【8】会社としては休業要請を受けるまでは極力営業を継続する方針である。
そして経営理念の「人々の心と体の健康づくりに貢献する」と社是「働くものに幸せを」を全うする。
しかし、お客様にゴルフを楽しんでいただくことだけを営業の目的とした場合、あるいはお客様がそれを望んだ場合、結果として、部分的にサービスが削減されることになる。
- 【9】休業要請を受けた場合、あるいは営業が困難な状況になった場合、社員の生活を守るため、雇用の継続を前提に様々な対策を講じる。
その為に、助成金や補償金の仕組みを研究し、可能な限り申請し、そして損失を補填する。

以上